

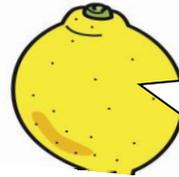
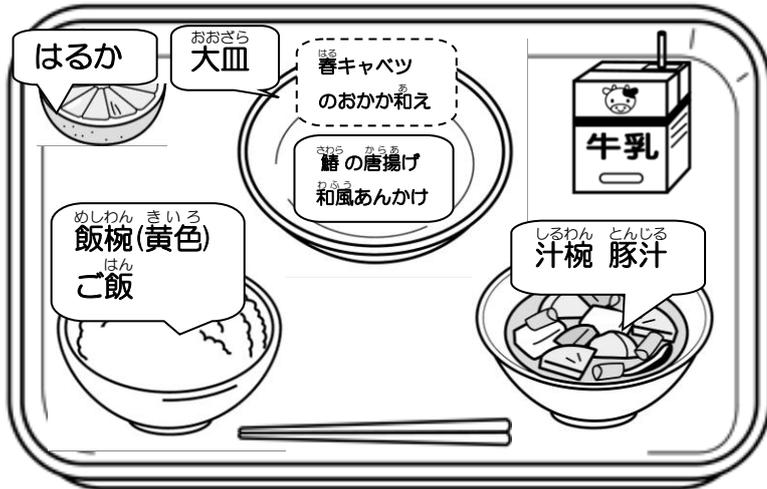


きゅうしよくニュース

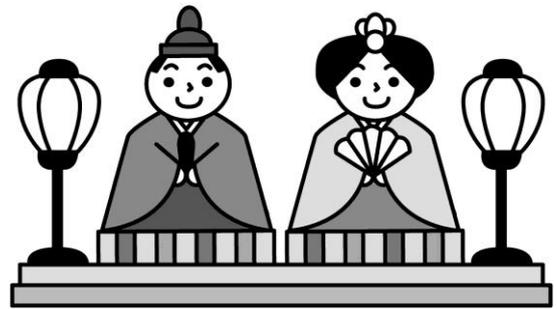


れいわ ねん がつ にちげつようび
令和6年2月19日 曜日

にじゅうしせっき うすい 二十四節気 「雨水」



「はるか」
見た目はレモン
のように黄色だ
けど、甘みは強
めです。



今日は、「雨水」、二十四節気の2番目で「雨が大地を潤し、植物が芽を出す」という意味が込められています。空から降るものが、雪から雨に変わり、雪が溶け始めるころです。春一番が吹き、鶯の鳴き声が聞こえ始める地域もあります。昔から農耕の準備を始める目安とされてきました。

また、この日に雛人形を飾ると、良縁に恵まれるそうです。雨水に食べる決まった食材はありませんが、旬の食べ物を食べると良いそうです。そこで、今日の給食では、おかずに春を告げる魚といわれる「鱮」と今が旬の小松菜や大根や長葱、旬を迎え始めた春キャベツなどを使いました。デザートのはるかは愛媛県産、日向夏から自然に生まれた品種です。

☆今日の給食に使っている千葉県産の食べ物☆
米 牛乳 人参 船橋市産→小松菜 長葱

